



0 |

イベント

R7.12.5 (金)

14:30~16:00

@屋島教会幼稚園

こそだてえん

参加者14組33名

「みんなで遊ぼう！おもちゃひろば」

講師 石井今日子さん

(特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会

地域デザイン事業部 エグゼクティブ・ディレクター)

01

講座では、講師の自己紹介ののち、石井さんによるプラスチック製のおもちゃ皿回しが披露されると、子どもや保護者たちはカラフルなお皿に目を輝かせ、指を差しながら興味津々で見入っていました。

6~8ヶ月のお座りの時期には、お座りしながら手でおもちゃを引っ張ったり、保護者が引っ張るおもちゃをハイハイで追いかけたりする遊びが効果的であると説明されました。また、音や動きに反応することで、手の力や目と手の協応、好奇心が育まれることが説明されました。さらに、1歳前後で歩けるようになると、引っ張るおもちゃと一緒にお散歩を楽しめるようになり、言葉が出始めると、「いってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」といった親子の言葉のキャッチボールを通して、より良い親子関係を築くことができると語られました。

おもちゃを通して、親子の関係性を深められることや、そのおもちゃにどのような知育的な役割があるのかを知ることができた様子だった。講座終了後には、講師や関係者に直接感想を伝える参加者の姿も印象的であり、本イベントが大変好評だったことが感じられました。





02

「みんなで遊ぼう！おもちゃひろば」

イベント

R7.12.6（土）

10:00～11:30

@おやこひろば

ひなたぼっこ

参加者14組31名

講師 石井今日子さん

（特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会

地域デザイン事業部 エグゼクティブ・ディレクター）

講座の冒頭で、自由におもちゃで遊んでいる子どもたちのもとへ歩み寄り、「コップがさね」の魅力についての解説が行われました。大きさの異なるコップを一つずつ積み重ねる遊びを通して、手先の器用さが育まれたり、大きさの違いを自然に理解できたりすることが紹介されました。

大人おもちゃを通じた遊びの中で、「トライアングルの関係」についての説明がありました。これは、子ども・おもちゃ・大人（保育者・保護者）の三者の関わりの中で、子どもがおもちゃに触れる際にどのような声かけや表情を向けるかによって、愛情が育まれ、遊びを通してより良い親子関係が築かれるという内容でした。保護者たちは終始うなずきながら、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

おもちゃ一つで広がる多様な遊び方や、親子関係の構築、子どもの発達への効果など、普段何気なく触れているおもちゃに、これほど多くの可能性があることを知り、子どもだけでなく保護者にとっても新たな発見のある時間となりました。おもちゃを通して心がふれあい、学びと笑顔があふれる——そんな「おもちゃひろば」は、まさに親子にとってかけがえのないひとときとなりました。



02